



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月30日

上場会社名 株式会社システム・テクノロジー・アイ 上場取引所 東
 コード番号 2345 URL http://www.systech-i.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松岡 秀紀
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員管理本部長 (氏名)内山 富士子 (TEL)03(5148)0400
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 平成一年一月一日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	230	△4.3	4	—	0	—	△2	—
27年3月期第1四半期	241	1.4	△6	—	△8	—	△14	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △2百万円(—%) 27年3月期第1四半期 △14百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△2.11	—
27年3月期第1四半期	△10.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	965	748	77.1
27年3月期	977	770	78.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 744百万円 27年3月期 765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	526	7.7	△3	—	△6	—	△9	—	△6.74
通期	1,142	18.6	43	—	37	—	28	—	21.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	1,336,700株	27年3月期	1,336,700株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	14,078株	27年3月期	2,178株
----------	---------	--------	--------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	1,332,672株	27年3月期1Q	1,334,434株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成27年7月30日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安により輸出関連企業が好調に推移したことや雇用環境において改善が見られたものの、中国経済の減速や欧州における債務問題等により、先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループでは、安定した収益基盤の強化と業績向上に向けて各事業の成長分野への早期立上げに注力し、当社グループの認知度向上を図るためのPR活動を積極的に展開いたしました。具体的には、企業向け総合学習管理システム「iStudy Enterprise Server」導入済み企業様のグループ各社への横展開営業強化、「iStudy Enterprise Server」オプション製品およびeラーニングソフトウェア「iStudyシリーズ」のラインナップ拡充、医療業界の新規分野へ向けた営業体制強化のための人材確保および新サイトオープン準備に注力いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、230百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益4百万円（前年同期は6百万円の損失）、経常利益0.8百万円（前年同期は8百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失2百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

[iLearning事業]

iLearning事業につきましては、「iStudy Enterprise Server」関連の新規案件獲得が計画を下回ったものの、利益率の高いストックビジネス売上が前年同期に比べ増加したことにより、セグメント損失は、前年同期に比べ大幅に改善いたしました。

その結果、売上高92百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント損失5百万円（前年同期は19百万円の損失）となりました。

[Learning事業]

Learning事業につきましては、企業向け定額制研修SEカレッジ売上が好調に推移したものの、1社向け企業内研修（オンサイト）、オラクル認定研修が前年同期を下回りました。

その結果、売上高84百万円（前年同期比7.4%減）、セグメント利益2百万円（前年同期比54.5%減）となりました。

[人材紹介・派遣事業]

人材紹介・派遣事業につきましては、医療業界の介護・リハビリテーション分野向けの新サイトオープンへ向けた取り組みに注力し、医療分野への人材紹介事業の更なる強化を図りました。売上高につきましては、IT技術者派遣が人材獲得に苦戦し前年同期に比べ減少したものの、医療機関向け人材紹介売上が好調に推移いたしました。

その結果、売上高53百万円（前年同期比6.7%減）、セグメント利益6百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて11百万円減少し、965百万円となりました。これは、主に売掛金25百万円の減少、前払費用12百万円の増加によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べて9百万円増加し、216百万円となりました。これは主に前受収益17百万円の増加、未払消費税等6百万円の減少によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて21百万円減少し748百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失2百万円、その他資本剰余金の配当6百万円、自己株式の取得11百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月28日に公表いたしました第2四半期累計期間および通期の業績予想に関しましては、現時点においては変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差
額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更
いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の
確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させ
る方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させる
ため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時
点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	598,071	602,405
売掛金	124,246	99,003
有価証券	10,135	10,136
商品及び製品	3,436	3,903
仕掛制作費	-	86
前払費用	10,008	22,499
関係会社短期貸付金	150,000	150,000
その他	11,320	10,683
貸倒引当金	△237	△260
流動資産合計	906,981	898,458
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,684	7,297
工具、器具及び備品(純額)	7,676	6,721
リース資産(純額)	1,040	845
有形固定資産合計	16,401	14,864
無形固定資産		
ソフトウェア	9,023	8,045
その他	901	873
無形固定資産合計	9,925	8,919
投資その他の資産		
敷金及び保証金	41,350	41,350
その他	4,636	4,297
貸倒引当金	△2,096	△2,096
投資その他の資産合計	43,889	43,550
固定資産合計	70,215	67,334
資産合計	977,197	965,792

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,055	32,720
未払金	25,977	28,390
未払法人税等	3,644	4,673
未払消費税等	14,974	8,729
前受金	13,018	12,119
前受収益	104,671	121,683
その他	5,851	6,622
流動負債合計	205,195	214,940
固定負債		
退職給付に係る負債	1,667	1,944
その他	273	68
固定負債合計	1,940	2,013
負債合計	207,136	216,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,788	347,788
資本剰余金	983,236	976,564
利益剰余金	△564,405	△567,224
自己株式	△778	△12,508
株主資本合計	765,842	744,619
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	-	-
新株予約権	4,218	4,218
純資産合計	770,061	748,838
負債純資産合計	977,197	965,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	241,376	230,976
売上原価	145,959	120,926
売上総利益	95,417	110,049
販売費及び一般管理費		
役員報酬	14,444	13,825
給料手当及び賞与	41,563	43,957
法定福利費	6,690	7,294
広告宣伝費及び販売促進費	4,443	2,812
賃借料	5,913	5,955
支払報酬	5,447	5,361
減価償却費	2,172	1,779
その他	21,236	25,018
販売費及び一般管理費合計	101,911	106,005
営業利益又は営業損失(△)	△6,494	4,044
営業外収益		
受取利息	501	494
無効ユニット収入	307	130
その他	-	74
営業外収益合計	809	699
営業外費用		
証券事務取扱手数料	2,921	3,482
その他	323	397
営業外費用合計	3,244	3,880
経常利益又は経常損失(△)	△8,928	864
特別利益		
新株予約権戻入益	160	-
特別利益合計	160	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△8,767	864
法人税、住民税及び事業税	4,927	3,881
法人税等調整額	322	△197
法人税等合計	5,249	3,683
四半期純損失(△)	△14,017	△2,819
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,017	△2,819

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△14,017	△2,819
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	△14,017	△2,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,017	△2,819
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	iLearning 事業	Learning 事業	人材紹介・派遣 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	92,100	91,758	57,516	241,376	—	241,376
セグメント間の内部 売上高又は振替高	150	—	—	150	△150	—
計	92,250	91,758	57,516	241,526	△150	241,376
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△19,057	5,461	7,060	△6,536	42	△6,494

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額42千円は、未実現利益の調整額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	iLearning 事業	Learning 事業	人材紹介・派遣 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	92,287	84,997	53,690	230,976	—	230,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	150	—	761	911	△911	—
計	92,437	84,997	54,452	231,887	△911	230,976
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△5,380	2,485	6,896	4,002	42	4,044

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額42千円は、未実現利益の調整額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。